

競技上の確認

1. 本大会は、令和5(2023)年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
2. 本大会は、準決勝まで1ボールシステム、決勝戦のみ5ボールシステムとする。
3. 選手交代については、ナンバーパドルおよびブザーを使用しておこなう。また、給水のためのタイムアウトは実施しない。
4. チームの構成は、監督・コーチ(生徒は不可)・マネージャー・選手14名以内の計17名以内とし、監・C・M章をつけること。リベロはチームのユニフォームと対照的な色のユニフォームを着用すること。
5. ベンチスタッフの服装については、ジャケット着用または統一された服装とする(マネージャーが生徒の場合はこの限りでない)。
6. 競技中のコートワイピングは、プレーヤー自身がおこなうことを原則とするが、各チームでクイックワイパー(スティックモップを兼ねる)を置き、ワイピングをすることができる。なお、決勝戦のみ地元コートオフィシャルが担当する。
7. プログラムに記載された時刻は試合開始時刻で、プロトコールは試合開始時刻の11分前からおこなう。
8. 試合進行について
 - (1) 前試合が次のプロトコール開始予定時刻を越えた場合は、記録完了5分後にプロトコールを開始する。
 - (2) 前試合が早く終了した場合、次のプロトコール開始予定時刻までのコート使用については競技委員長の指示に従うこと。原則としてコートでのボール使用は禁止とするが、当該フロアの全てのコートで試合が終了している場合(プロトコールは試合に含まれる)はボールを使った練習を認める。
9. エントリー変更については、変更の有無にかかわらず所定の変更用紙に記入のうえ、2月9日(金)の代表者会議開始までに会場受付に提出すること。試合毎にエントリーメンバー表を提出する必要はない。
10. 大会使用球は、女子:ミカサ「MVA300」・男子:モルテン「V5 M5000」とする。
11. 応援については特に制限をしない。鳴り物を使った応援も可とするが、競技委員会・審判委員会が競技運営に支障があると判断した場合は、その使用を制限する場合がある。
12. 10日(土)・11日(日)とも、会場の開館時刻を8時00分、コート使用可能時刻を8時30分からとする。

審判上の確認

1. 本大会は、2023 年度（公財）日本バレーボール協会 6 人制競技規則による。
2. 監督・選手は競技規則に精通し、これを厳守すること。
3. リベロはチームキャプテンにもゲームキャプテンにもなれる。
4. プロトコール時の公式練習は 3 分間ずつとし、合同練習の場合は 6 分間とする。
5. 公式ウォームアップ開始前に監督は、記録用紙の選手リストの中からリベロとして登録する選手の番号をリベロ選手欄に記入し、サインする。また、チームキャプテンは試合開始前と試合終了後にサインする。
6. 各セット開始前に提出されたラインアップシートは、記録員が記録用紙に記入完了後の変更は認められない。ただし、スターティングラインアップの選手が試合前に負傷した場合は、監督がファーストレフェリーに申し出て、確認後変更することが可能である。（この変更は選手交代に含まれない）
7. 正規の試合中断は、監督が要求できる。監督が不在の場合、アシスタントコーチまたはゲームキャプテンだけが要求できる。
監督が罰則の適用を含めなんらかの理由でチームを離れなければならなくなった場合、ゲームキャプテンの要求に基づきファーストレフェリーが確認すれば、監督不在中にアシスタントコーチは監督の役割を引き継ぐことができる。
8. 選手交代のためのナンバーパドルを使用する。ブザーも使用する。スコアラーはブザーを使用して選手交代の要求があったことを通知する。
9. チームが 2 組以上の選手交代を同時にしようとするときは、同一の要求とみなせるように、すべての交代選手が同時に選手交代ゾーンに入らなければならない。この場合、交代は 1 組ずつ連続して行われる。
10. 監督は試合を妨げたり、遅らせたりしなければ、自チームベンチ前のアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことができる。
11. チームのすばらしいプレーに対して、ベンチの構成員が立ち上がってその喜びを表すような態度は罰則の対象とならない。しかし、競技役員、相手チーム、チームメイト、さらに観衆等に対する不法な行為は罰則の対象となる。
12. ユニフォームを着替えるときには、ゲームキャプテンが主審、もしくは副審の許可を得て、セット間または選手交代後に行う（フロア内での着替えはできない）。この場合、着替えた後のユニフォームは色、デザイン、番号が着替える前の物と同じでなければならない。
13. 試合の前後は、選手 14 名がエンドラインに整列し主審のホイッスルで挨拶をし、対戦チームと握手をする。なお、監督、キャプテンは、主審、副審にもその場で挨拶する。